

授業科目：口腔病理学

学修目標

病理診断の基本的なプロセスを理解する。病変の成り立ちを理解するための考え方，研究計画および分析方法の原理と実際を学ぶ。また，病理学および免疫学，分子生物学の基礎技術を修得する。

■教科書：なし

■参考書：なし

■オフィスアワー：浅野 正岳 月曜日 17：00～18：00

尾曲 大輔 月曜日 17：00～18：00

■成績評価：出席に加え論文読解力と討論の結果を評価する。

■注意事項：受講前に教員とコンタクトして，授業の会場を確認すること。

■準備学習：口腔病理全般について基礎的内容を復習すること。

授業日・担当者	テーマ	具体的内容
第1回4月5日(金) 浅野 正岳	研究計画	自らの研究テーマ決定について説明し，具体的な研究の進め方についての討論を行う。
第2回4月12日(金) 浅野 正岳	alarmin とは	学術論文読解能力の向上を目的として，alarmin に関する論文を抄読する。
第3回4月19日(金) 浅野 正岳	細胞死について	論文読解能力の向上を目的として，細胞死に関する総説論文を抄読する。
第4回4月26日(金) 尾曲 大輔	脳梗塞モデル	総頸動脈結紮による脳梗塞モデルラットの作製を行う。また，灌流固定の手技を習得する。
第5回5月10日(金) 尾曲 大輔	脳梗塞における alarmin	脳梗塞モデルラットの脳組織や，その他の組織の摘出と，これらを用いた病理組織標本の作製について学ぶ。
第6回5月17日(金) 尾曲 大輔	二重染色について	作成した病理標本を用いて免疫染色を行う。
第7回5月24日(金) 浅野 正岳	機能水とは	電解酸性機能水の概要について学修し，細胞培養技術を習得する。
第8回5月31日(金) 浅野 正岳	機能水の生物学的機能	培養細胞に電解酸性機能水を作用させ，その後の細胞溶解液の作製や，培養上清の処理について学ぶ。

授業日・担当者	テーマ	具体的内容
第9回6月7日(金) 浅野 正岳	機能水の生物学的機能	細胞に対する機能水の効果を brain heart infusion 培養などを用いて判定する。
第10回6月14日(金) 尾曲 大輔	分子生物学的研究手法	電解酸性機能水を作用させた培養細胞からの RNA の抽出を行う。
第11回6月21日(金) 尾曲 大輔	分子生物学的研究手法	得られた RNA を用いて cDNA を作成し、real-time PCR の手技を習得する。
第12回6月28日(金) 尾曲 大輔	分子生物学的研究手法	電解酸性機能水を時間を変えて作用させた培養細胞から、ゲノム DNA を抽出し、定量する。
第13回7月5日(金) 尾曲 大輔	分子生物学的研究手法	DNA の電気泳動や、その観察の実際について学ぶ。
第14回7月12日(金) 尾曲 大輔	分子生物学的研究手法	各種 alarmin 遺伝子の発現変化について、習得した real-time PCR を用いて比較検討する。
第15回7月19日(金) 浅野 正岳	討論	最初に立案した自らの研究テーマに、本科目で学修した内容を、どのように活用し得るかという点について、総合的な討論を行う。